

C100 HDS High End Broadcast Console



Scalable Broadcast Console & Routing System

C100 HDS. This is SSL.

Solid State Logic
SOUND | | VISION

C100 HDS High End Broadcast Console

On-Air Audio Excellence

世界中の著名な放送局がC100コンソールの信頼性と比類ない高音質を信頼しています。C100は、処理チャンネル数や入出力数などを自由に選択できるスケラブル・コンソールで、経験豊富なエンジニアがHD制作など最も要求の高い作業に向き合えるようデザインされています。高い信頼性を持ち完全に二重化されたシステム構成はスタジオ全体の安定をもたらします。C100は、複数のスタジオ、複数のコントロールルームでの回線の共用をコンソールから行えるなど、中規模から大規模の放送局に最適なコンソールです。コンパクトでファンレスのコントロールサーフェスは音声中継車への導入にも適しています。C100コンソールはニュース、スポーツ、エンターテインメントと番組制作に日夜稼働しています。

Key Benefits

- メータリング、モニタリング、自由度の高いバス構成、1本のフェーダーでステムを扱える機能、強力なパンニング機能とステレオから5.1サラウンドへのアップミックス機能など、5.1サラウンド制作に必要な機能を包括的に装備。
- モジュラー方式の入出力、フレームサイズを選べるコントロールサーフェス、ハードウェアの追加を必要としないチャンネル処理能力の増強など、現時点で最適な仕様を実現するとともに将来の拡張性を併せ持つフレキシビリティ。
- 実証されている高い信頼性と、あらゆる部分が並列構成となっている完全な二重化システム。
- 人間工学的に美しく論理的でかつ安心感のあるコントロールサーフェスデザインはフリーランスエンジニアにとっても使いやすく、各チャンネルのプロセッシングは全て専用となっておりDSP処理能力の割り当てを考慮する必要はありません。
- SSLのダイアログ・オートミックス機能によって、慌ただしいやりとりの制作でマイクフェーダーの操作に気を取られることなく、準備と制作全体のクオリティにのみ集中することができます。
- Pro-Bel、Ross Overdrive、Sony ELC Production Automationといったリモートコントロールに対応し、GPIも放送用に多機能化。
- DAWコントロール機能を持ち、コンソールをポストプロダクションにも使用することでスタジオの効率的な運用が可能。
- SSLのワールドワイドなサポートネットワークがもたらす、システムのアドバイスから納入調整、トレーニングまで比類ないセールスサポートとアフターサービス。

HD Production Powerhouse

C100はSSLの定評ある最高水準の音質と、常に最高の音を提供し続ける放送局のエンジニアが必要とするツールを併せ持ったオーディオ・ミキシングコンソールです。C100であれば、コンソールから出るあなたの音が最良のものであり、必要とする作業をシンプルに進めることができるツールがいつでも手の内にあることを確信できます。C100のコントロールサーフェスは、美しさ、安心感と自由度、そしてこの業界での30年以上の経験に基づく論理的なデザインがなされており、フリーランスエンジニアにも扱いやすいものとなっています。独立したチャンネルとアサイン可能なマスター・パネルとのコンビネーション、チャンネルTFTモニター、センターセクションのタッチスクリーンなどのハードウェアと先進のプロセッシング能力、ルーティング機能、モニタリング環境を融合したC100は、誰にでも簡単に扱えて、なおかつ強力な機能を持つコンソールです。

C100は5.1HD制作に求められる能力を全て標準で装備しています。特に重要な機能として、チャンネルをモノ、ステレオ、5.1等に自由に設定でき、例えば5.1ステムを1本のフェーダーにまとめて(あるいは6本に展開して)扱うことのできる機能や、5.1メータリング、いつでも切り替えられる5.1対応のバス構成などがあります。そして、どのようなステレオ素材でもクリアで正確な5.1ステムへと自動的に変換する'5.1アップミックス'機能を装備できます(オプション)。任意のステレオチャンネルからフロント/リア、ワイズのコントロールを行いつつ5.1ステムへと変換し、プログラムバス等へ送ることができ、またその5.1ステムを再度ダウンミックスしてステレオにしても、ほかの機器でよく見られるような不要な歪みやノイズを発生させません。

SSLのユニークな'ダイアログ・オートミックス'機能(オプション)は、複数のマイクが同時に使用される生放送のトークショーなど、各々のマイクチャンネルのフェーダーを慌ただしくコントロールしなければならない局面で、スムーズでバランスのとれたミックスを作成するためのアシストを行います。一度各チャンネル間のバランスを適正に合わせたら、'ダイアログ・オートミックス'機能はオペレーターによるフェーダーの下げ遅れ、忘れを修正し、展開の早い内容でも安定したレベルバランスを提供できます。またこの機能により、番組全体に渡って一定の音声レベルを維持することができ、バックグラウンドのノイズや環境音とのバランスも保つことができます。

C100の'プロダクション・オートメーション'機能はRoss OverdriveとSony ELCシステムとに対応し、C100のコントロールサーフェスをリモートから制御することにより、音声専門のエンジニアを必要としない運用が可能となります。

DAWコントロール機能により、コンソールをポストプロダクション作業にも使用でき、スタジオの稼働率を上げ効率的な運用が可能となります。

詳細は www.solid-state-logic.co.jp/C100 にあり、製品の詳細と各種ドキュメントが用意されています。

C100 HDS. Control Surface

Ergonomic Elegance

自由に設定が可能なコントロールと、各処理専用のマスターチャンネルとフェーダー。アサイン方式と専用コントロール方式との両方の利点を併せ持つC100コンソール。

- 各チャンネルはモノ/ステレオ/サラウンド (LCR, 4.0, 4.1, 5.0, 5.1) と自由に設定でき、EQ/Dynamicsなどの順番も自由に設定可能。
- 最大128フェーダーまで選べるコンソールサイズ。
- 各ペイにあるマスターチャンネルは、ハードウェアのリダダンシーとして複数箇所から使用可能。
- コンソールの各設定をタッチスクリーンまたはグラフィカルにオフラインで設定可能。
- 各チャンネルはタッチスクリーンから呼び出せるマルチレイヤー構成。
- オンエア中であってもレイヤー切替による各チャンネルのリアレンジや、あるチャンネルを'固定'して全てのレイヤーに含むことが可能。
- ユニークなフロントパネル(コントロールサーフェス)管理機能により、障害発生箇所を回避しての使用が可能。

Master Channel Panel

- 入力、Buss送り、出力、EQ、Dynamics、Filter、Delay、Insert、Auxの各設定を行う専用エリア。
- 見やすく色分けされた各セクション。
- 放送に特化した機能群。
- ハードウェアの二重化オプション。
- 人間工学的デザインと分かり易い配置。

Free controls

- 各チャンネル専用でマスターチャンネルの任意のパラメーターをアサイン可能。
- GPIによる制御が可能。
- 名前や値を表示するための4文字表示。
- このセクションは複数のレイヤーを設定し切替可能

Traditional controls

- 各チャンネル専用のAFL、PFL、ONスイッチ。
- 各チャンネル専用のパンポットとフェーダーネーム表示。

Special access

- A/Bスイッチによるチャンネルリンクの切り替え。
- 'Expand' スイッチによりマルチチャンネル入力を複数のフェーダーに展開。

Fader Section

- モーター内蔵フェーダー。
- スリムな30mmフェーダーピッチ。
- GPIによる制御。
- リセット機能やレイヤーの切替保護機能。
- 感度調節やOn/Off可能なバックストップPFL。

Channel meter and status display

- 全てのチャンネルでモノ、ステレオ、5.1表示可能。
- メータリングポイントは5か所の中から選択。
- 入力レベルとダイナミクスのゲインリダクション表示。
- ダイアログ・オートミックス機能の動作状態を表示
- プロセスマトリクスとバスルーティング表示。
- ダイナミクス、EQ、フィルターの各表示。
- Auxのセンドレベルとパン表示。
- メイン、オルタネイト入力、インサート、フェーダーネーム表示。

Output meters

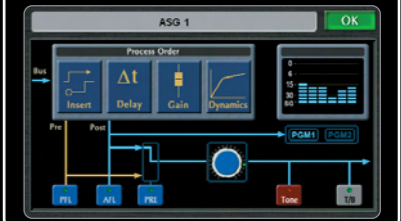
- 電気式または機械式のメーターを選択可能。
- 2ch、6ch、8chのフェーズスコープを装備することが可能。
- VUメーターを装備可能。(PPMメータも選択可)

System status

- コアユニットの電源タリ。
- メイン系とバックアップ系の両方を表示。

Touchscreen

- 全てのBussのレベルとゲインを常時表示。
- 色分けされたTalkbackとToneのOn/Off表示。
- 4系統のモニターソースセクター。
- セッション管理機能。
- 指でパラメーターにアクセスし調節を行うことが可能。



Monitor controls

- Main(5.1)、Mini(ステレオ)、PFL(ステレオ)出力。
- 位相反転、L/R反転、モニターフリップ、モノの各機能を標準装備。
- 5.1インサート及び別系統でのステレオインサートリターン。
- 独立したモニターCut/Solo。
- トークバックマイクも実装。

User Layers

- ユーザーがカスタマイズできる自由なレイヤー構成。

Bus and layer control

- 全てのレイヤーにアクセス。
- グループマスター、ASG、PGMフェーダーにアクセス。
- モニタリングとコミュニケーション系のBussトリム。

Soft Keys

- 60個(10×6)の自由に機能を設定できるスイッチ。タッチスクリーン上の機能やGPIOを設定することも可能。
- 名前や値を表示するための4文字表示。

Control Linking

SSL独自のControl Linking™は、ある信号をコンソールに立ち上げる時に、その信号に付随している各設定をリコールする機能です。以下の各設定が動作します:

- 入力フォーマット (モノ/ステレオ/5.1)
- Buss送り、Utility Buss、Direct、N-1送り
- GPIコントロール設定(カブスイッチ/フェーダースタートなど)
- Free Controlのアサイン内容
- EQ/Dynamics/Filterの各設定: Control Linkを使用すると、それまで毎回行っていた各種設定をルーティングと同時に反映させることができ、セットアップ時間を大幅に短縮できます。

C100 HDS. This is SSL.

Solid State Logic
SOUND | | VISION

Intuitive Touchscreen Control

センターセクションのタッチパネルには全ての出力レベルが常時表示されています。また、各種設定ツールもここに含まれています。全ての出力にはトーンとトークバックの割り込み機能が装備されており、またレベルコントロールと実際の出力レベルがバスの名前と共に表示されています。さらに、全ての出力はフェーダーによりコントロールすることができます。

ASGバスは8系統のステレオ、もしくは2系統の5.1プラス2系統のステレオという設定が可能で、それぞれにダイナミクスのゲインリダクションメーターとディレイ及びPGM/パスルーティングの状態が表示されています。

24系統のUtilityバスはモノ、ステレオ、5.1にフォーマットすることが可能で、IFBやレコードバス、サブミックス用として使用できます。

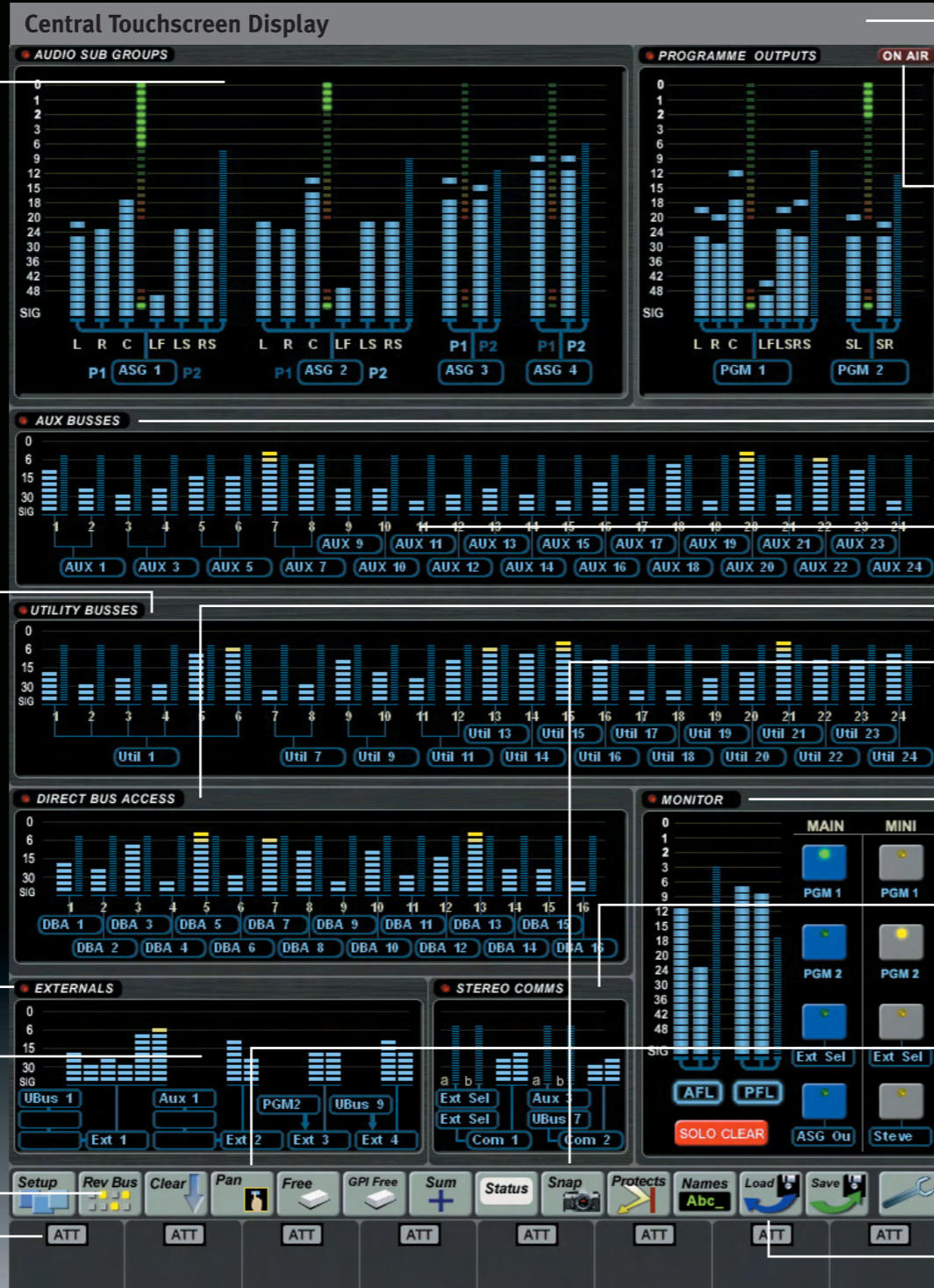
4系統の12入力セレクター(5.1またはステレオ)はモニターやヘッドフォンなどのソース切り替えなどに使用できます。

このエリアは選ばれた機能により表示が切り替わります。



“リバースバス”機能は、そのバスがどのチャンネルから送られているかを確認できます。

スクリーン上の“ATT”はセンターセクションの8本のフェーダーに対して設定を行う場合に使用します。



PGM出力はそれぞれにステレオまたは5.1に設定でき、同時にステレオとモノのダウンミックスも行っています。ダイナミクスのゲインリダクションも表示されています。

“オンエア”表示は外部からの信号、または内部の“マイクライブ”機能により点灯し、またそれをGPIOから出力できます。

24系統のAuxバスは、プリまたはポストに設定でき、モノまたはステレオにフォーマットすることができます。

トークバックがアクティブになっているバスは緑色で表示され、トーンがアクティブになっているバスは赤色で表示されます。

16系統の直接バスアクセス(DBA)は入力された信号をどのバスに対しても割り込ませることができ、サブミックスの入力やFXのリターンなどに使用できます。

スナップショットやバスのネーミング、フリースイッチ機能の割り当てなどもここから行います。

モニターセクションは、AFL/PFLのゲイン量や信号レベル、モニターのソースセレクト状態が表示されています。

2系統のステレオコミュニケーション出力は2つのステレオ入力を持ち、オンエアなど外部からの信号でミュートさせる機能も装備しています。

タッチパン機能により、5.1のパニングを素早く行えます。

‘スパナ’ボタンを押すことでセットアップメニューへ入ることができます。

コンソールの諸設定(プロジェクト)をLoad/Saveするボタンです。

Comcast SportsNet



“生放送の5.1ミックスをリアルタイムで扱えるのはC100しかない”

Mike Giacalone, Digital Audio Consulting Engineer to Comcast, USA

Radio France



ラジオフランスは、数多くのファンを持つ音楽番組やトーク番組を放送する、フランス国内で最も重要なラジオ局です。C100の高い信頼性と音質が導入の決め手となりました。多くのコンソールを厳密に比較検討した結果、C100の音質の良さは抜きん出たものでした。

Comprehensive Channel Display

チャンネルメーター表示は信号レベルとチャンネルの入出力ルーティングを分かりやすく整然と表示しています。それぞれのスクリーンは8チャンネルごとに用意され、8チャンネル分の情報を同時に表示するモードとATTにより選択された1チャンネルの詳細を表示するモードとが切り替えられるようになっています。

それぞれのチャンネルはフェーダー番号と入力されているソース名、DSPの使用チャンネルが表示され、変更があればダイレクトに反映されます。

24系統のユーティリティーバスと、8系統のASG、2系統のPGM、N-1バスの出力状態表示です。

ダイアログ・オートミックス機能の動作状態を表示

メーターのソースは6箇所あるポイントのどれかひとつを選択できます。この部分はDynamicsのゲインリダクションメーターです。

5.1、ステレオ、モノチャンネルは場所を選ばず並べることができ、分かりやすく表示されます。

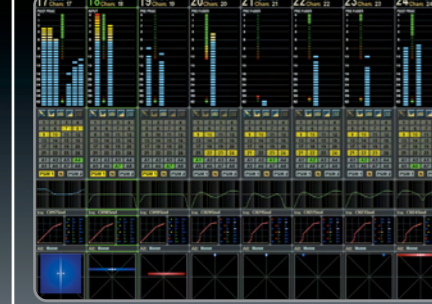
5種類のプロセッシングの並びはアイコンによって表示されています。バイパスされているものは、'グレー表示' となっています。

24系統のユーティリティーバスと、8系統のASG、2系統のPGM、N-1バスの出力状態表示です。

下部の表示はサイドチェーンソースやインサートなどの名前も表示されます。

4バンドEQ+2バンドフィルターの高精細なカーブ表示。

マルチチャンネルビュー(8チャンネル一斉表示)と切替が可能。



Dynamicsカーブの高精細表示。(コンプレッサー/リミッター、ゲート/エキスパンダー)



通常チャンネル名を表示していますが、ボットを回すなど、変化のあったパラメータの値を一時的に表示します。

Aux send ゲイン表示。モノ/Auxのレベル、ステレオAuxのレベルとパン位置、また色でPre/Post、On/Offを表しています。

プロセスオーダーの拡大表示。この図では“インサートポイント”、“EQとフィルター”、“フェーダー”、“Dynamics”、“ディレイ”の順に並んでいることを表しています。



“自由度が高く、かつ操作しやすい。柔軟なルーターのおかげでセットアップにかかる時間も短くなった。”
Tetsuo Ueno, Chief Engineer, NHK Sapporo, Japan



“5.1サラウンドの扱いやすさと自由度の高さ、そして何よりも重要な音質の良さ。C100は我々にとって最高のコンソールだ。”
Michael Narracci, NESN

Custom configuration, seamless integration, exemplary support, total reliability and ultimate peace of mind...

C100のコントロールサーフェスサイズ、チャンネル処理数、入出力の構成は自由に選択できます。ユーザーの要望に合わせ、現在必要としている仕様を完全に満たしつつ、将来の拡張性も維持できます。我々は納入から調整、トレーニングに至るまで最上のサービスを提供し、システムとスタジオ、そしてエンジニアが希望する期日に確実に運用を行えるようサポートします。

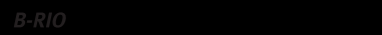
C100は、放送局が要求する高度な信頼性に応えます。全てのC100コンソールのコンピューターは100%専用設計で、安定性が高くウイルスフリーなシステムです。ソフトウェアは自己診断機能を持ち、常にエラーを監視しています。エラーを検出した場合には音声に影響を与える前に必要に応じて修復を行っています。また、C100はSNMPによるリモート監視にも対応しており、コンソールの状態を外部から自動的に監視することができます。C100HDSのシステムは完全に同一のプロセッサ、入出力ユニットを2台並列で稼働させる方式の二重化を行っており、万一の不具合発生時でも音声を損なうことなく瞬時に別のユニットに完全に移行して作業を継続することができます。また、2台のコントロールサーフェスがある場合には、1台からもう1台へと瞬時に移行することも可能です。

I/O Options

システムの要件に合わせてお選びいただける音声入出力ユニットは以下の通りです：

B-RIO - High density local I/O

B-RIOは最大256chの入出力を扱えるモジュラー方式のユニットです。コンソールシステムとは光MADIで接続します。通常のMADIによる接続では扱える入出力数は256chですが、SSL独自のBlacklightシステムでは1ペアの光ファイバーによる接続で最大512ch(二重化を含む)まで扱うことができます。制御信号とSNMPデータはMADI接続の中に含まれており、別にワイヤリングをする必要はありません。入出力カードはMic、Line IO、AES3 Digital IOを組み合わせて使用できます。



B-RIO

MORSE Stagebox - Modular versatile I/O stagebox

MORSE Stageboxは置き場所を選ばない入出力ユニットです。Stageboxは1台で56chの入出力と制御信号を1系統の光MADI接続で行います。Stageboxは、14スロットの構成で、Mic/Line、Line、AES3、SDI(HD/SD)のモジュールを組み合わせて使用できます。



MORSE Stagebox

Alpha-Link Live & 8RMP - Cost-effective multi-use I/O

Alpha-Link Liveは独立したコンバーターで、コンソールの低価格な入出力ユニットとして使用できます。このユニットでは64chのMADIと24chアナログLine、24chのAES3入出力とを同時に双方向に変換できます。Alpha-Link 8RMPは8チャンネルのマイクアンプで、3台までAlpha-Link Liveと組み合わせて使用できます。マイクゲインなどのコントロールはC100コンソールから直接行えます。

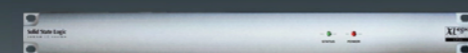


Alpha-Link Live

Alpha-Link 8RMP

Remote GPIO - GPIO capacity wherever you need it

SSLのリモートGPIOユニットは1UサイズのラックマウントユニットでC100とはEthernetによって接続します。コンソールのGPIO機能を24または48入出力拡張します。



Blackrock Processor

BlackrockはSSL最新のDSPプロセッシングユニットです。信号の処理速度、安定性と自由度の高さを高い次元で実現した革新的なコアユニットです。ユーザーは必要とする処理チャンネル数だけを決定します。全てのチャンネルが必要な機能を標準で装備し、センターセクションの機能も完成しています。将来の拡張はソフトウェアライセンスの更新によって行われます。Blackrockは2Uサイズのラックマウントユニットで、コントロールサーフェスとはEthernetにより接続されています。音声入出力ユニットとは全てMADIで接続され、SSL独自のBlacklightシステムによる接続では二重化により安全性を維持しながら1ペアの光ケーブル接続で最大512chの音声入出力が可能となっています。



Blackrock Processor

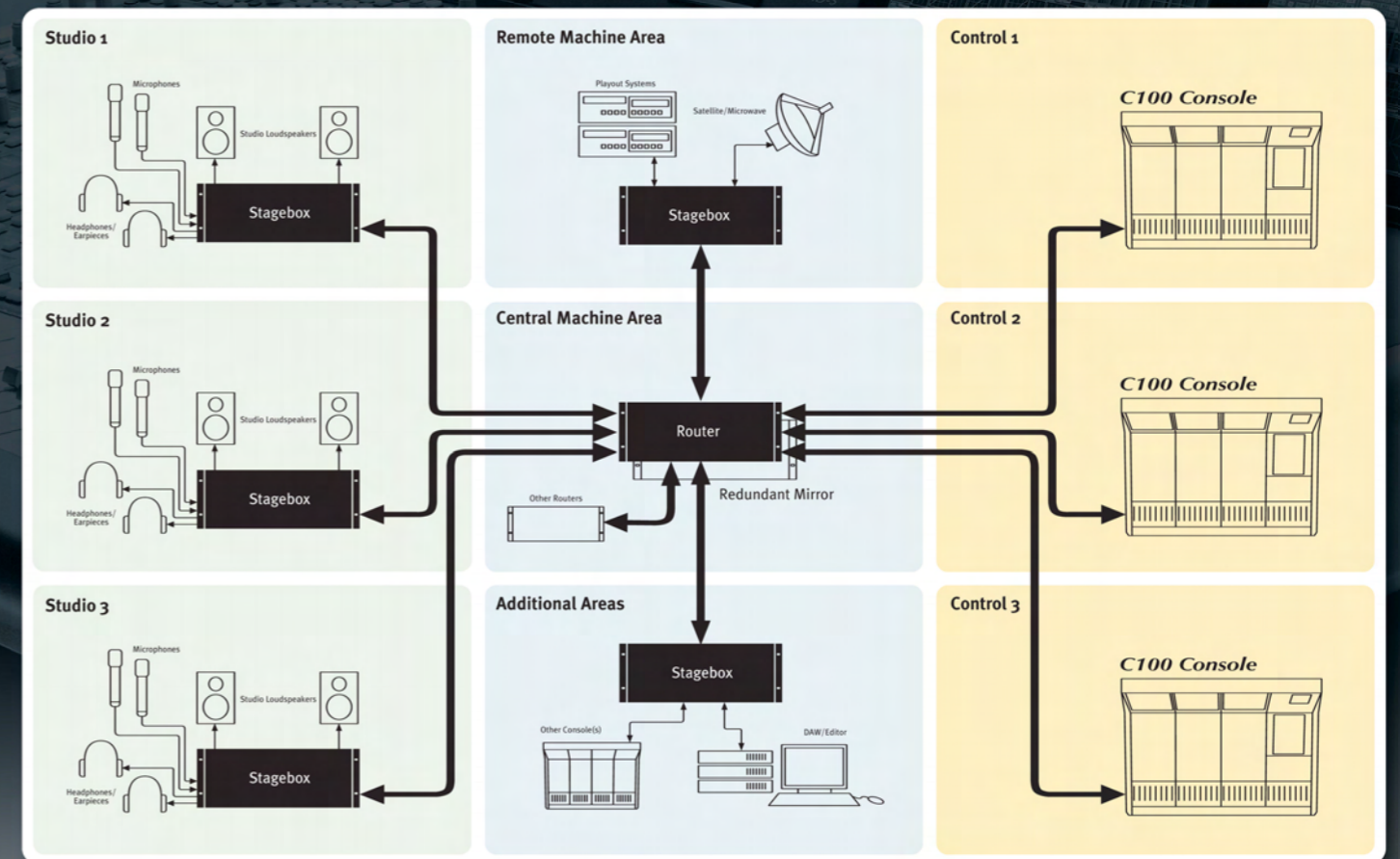
MORSE Router

放送局内の複数のスタジオにまたがる回線はMORSE Routerによって統合し、分配や管理が行えます。MORSEリソース・シェアリングシステムでは1台の独立したPCから全てのリソースの設定、管理を行えます。また、C100コンソールと接続されていればコントロールサーフェスから制御を行うことが可能です。MORSE RouterはC10及びC100と組み合わせて使用できます。



MORSE Router

MORSE I/O Sharing Application Example





Sports Production, USA



Dubai Media, Dubai



Liga TV, Hungary



Mansion Mobile, USA



TF1, France



Nippon Hoso, Japan

Physical and Environmental Specification

	C100 HDS
Max Height	1006mm (39.61")
Width	40 fader = 1431mm (56.34")
Each bay adds	285mm (11.22")
Contoured end trim adds	72mm (2.83")
Max Depth	926mm (36.46")
Height Adjustment	-0,+10mm (-0",+ 0.39")
Weight	(40 fader) ~190kg (~419lb)
Each bay adds weight	~35kg (~77lb)
Console Power (dependent on frame size)	100-240V AC, 300-700W
Control Surface Cooling Method	Convection (silent)

Solid State Logic

International HQ: Begbroke, Oxford, England OX5 1RU · Tel +44 (0)1865 842300 · Email sales@solidstatellogic.com
 France: 7 bis de la Victoire, 93150 Le Blanc Mesnil, France · Tel +33 (0)1 48 67 84 85 · Email frsales@solidstatellogic.com
 Italy: Via Timavo 34, 20124 Milano, Italy · Tel +39 0392 328094 · Email itasales@solidstatellogic.com
 New York: 320 West 46th Street, New York, NY 10036 · Tel +1 212 315 1111 · Email nysales@solidstatellogic.com
 Los Angeles: 3700 Wilshire Boulevard, Suite 720, LA, CA 90010 · Tel +1 213 249 9229 · Email lasales@solidstatellogic.com
 Japan: 3-55-14 Sendagaya, Shibuya-Ku, Tokyo 151-0051 · Tel +81 (0)3 5474 1144 · Email jpsales@solidstatellogic.com
 Bangkok: 82/509 Prachachuen Rd, Ladyao, Jatujak, Bangkok, 10900 Thailand · Tel +66 2 587 5111 · Email akaraphol@ssl-bkk.com
 Singapore: 1 Bukit Batok Crescent, 04-08 Wcega Plaza, Singapore 658064 · Tel +65 6438 2272 · Email chankw@singnet.com.sg

© Solid State Logic. All Rights reserved under International and Pan-American Copyright Conventions. Solid State Logic and SSL are trademarks of Solid State Logic. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced in any form or by any means, whether mechanical or electronic, without the written permission of Solid State Logic, Oxford, England. Solid State Logic has a policy of continual product enhancement and reserves the right to alter specifications without notice. E&OE.

実際の製品構成は写真のものとは若干異なる場合があります。また性能向上のため仕様を予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。

日本語版 © 2010 by Solid State Logic Japan K.K. ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン株式会社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14 TEL: 03-5474-1144 FAX: 03-5474-1147

C100 HDS. This is SSL.

Solid State Logic
SOUND | | VISION